

## 成績評価方法

### 客観的な指標に基づく成績の分布状況

GPAにより、学生が履修した全科目の成績の平均を数値化し、半期ごとのGPAを算出し自分の成績評価位置を示すことで今後の学習目標に役立たせる。

GPAの算出方法は下記に示すとおりである。

①試験得点に応じて5段階（4.0、3.0、2.0、1.0、0.0）のグレードポイント(GP)を設定する。

なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレードポイントが0点となる。

②各履修科目のグレードポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなる。

③各学生のGPAは「成績の分布を示す資料」として本人の成績評価位置を示し、学生にはGPAの算出方法をサンプルで示し、自分の学習成果の指標として理解させ今後の学習指導に役立てる。

#### 【GPA算出に必要なグレードポイント】

合否区分	評価	点数	グレードポイント
合格	S	100点～90点	4.0
	A	89点～80点	3.0
	B	79点～60点	2.0
	C	59点～50点	1.0
不合格	D	50点未満	0.0

#### 算出方法

$$\frac{4.0 \times S \text{ の取得単位数} + 3.0 \times A \text{ の取得単位数} + 2.0 \times B \text{ の取得単位数} + 1.0 \times C \text{ の取得単位数}}{\text{総履修登録単位数(不合格Dの単位数を含む)}}$$

#### 「成績の分布を示す資料（例）」

学科名	インフォメーション テクノロジー学 科		学年	1年	学生数	18名
成績の分布						
指標数値	0.0～0.9	1.0～1.9	2.0～2.9	3.0～4.0		
人数	2	5	7	4		
下位 1/4 に該当する人数 2名						
下位 1/4 に該当する指標値 0.9 以下						

## 成績評価の基準・方法

単位認定は、全授業の終了後下記①～③が満たされているとき、担当教員が評価判定し、単位認定会議を経て学校長が認定する。

- ①出席が該当科目の授業回数の4/5以上であること
- ②単位認定試験、およびその他に実施した試験を受験していること
- ③担当教員が指示した課題(レポート、作品等)が提出されていること

成績評価は、100点満点による「S」、「A」、「B」、「C」、「D」の5段階評価で行う。

各評価は「S(100点～90点)」、「A(89点～80点)」、「B(79点～60点)」、「C(59点～50点)」、「D(50点未満)」となり、「C」以上の評価が単位認定され、「D」評価は単位認定されず、「D」評価の必修科目は翌年再履修となる。

成績評価は、単位認定試験結果、演習課題評価、課題提出状況、授業態度などを総合的に判断し評価される。